

平成 26 年度 八重山特別支援学校 学校評価 まとめ(成果、課題、改善策等)

1 考察

- (1) 自己評価（内部評価）では、ほぼ全ての項目において、教職員が肯定的な評価をしている。
- (2) 特に「教育目標」の評価が高い。学校、学部の教育目標は全員が実態に即した目標であると、捉えている。
- (3) 重点目標の中で「特別活動」「生徒指導」「健康安全指導」「研究研修」に関しては自己評価では、評価が高い。
- (4) 「指導の充実」では「情報機器を活用した指導」について概ね達成されているとの回答だが、一部に「あまり達成できない」の評価がある。
- (5) 「健康・安全指導」は自己評価が高い。健康安全面を重視した教育活動の表れだと思われる。各学部での緊急時シミュレーションを実施し、担任、養護教諭、学部職員との連携が図られている結果が出ている。
- (6) 今年度から全体研修のテーマを「キャリア教育」として本格的に取り組んでいる。自己評価の中に「キャリア教育」を評価項目に入れた。結果として肯定的な評価で、充実した取り組みがなされていると思われる。
- (7) 「交流及び共同学習」の取り組みではほぼ目的が達成されている評価だが、高等部の「居住地での交流」で低い評価がある。発達段階から居住地での交流学习での難しさがあると思われる。
- (8) 本校は伝統的に環境緑化に力を入れて取り組んで来た経緯があり肯定的な評価である。しかしながら、一部に全校作業等での環境美化活動に低い評価が見られる。
- (9) 「家庭や関係機関との連携」では全体的に評価は高い。「関係機関との連携」や「関係機関との連携した実践」で高等部の一部に低い評価が見られる。
- (10) 今年度から職員の「運動不足解消」や「親睦」を目的に「八特タイム」の日を設定し実施してきた。概ね高い評価を得ているが一部に低い評価があるので改善の余地がある。
- (11) 寄宿舎に関する評価はほぼ全項目で肯定的な評価である。特に「余暇活動の充実」「生徒の健康管理」「基本的生活習慣の形成」「舎監長との連携」の評価が高い。

(12)「児童生徒アンケート」では本校は明るく楽しい雰囲気があり、毎日学校へ行くのが楽しいと感じている。また、学校行事も楽しみにしている。教師に対して良く誉めてくれ、丁寧に教えてくれると感じている。I pad 等情報機器の学習が楽しくて、協力して色々な活動ができていると評価している。一方、中・高等部生の中には項目によっては低い評価がある。「学校ではいじめやけんかがなくて楽しい」に対して11名が「そう思わない」を答えている。

(13)「保護者」もおおむね肯定的な評価が多い。昨年度は「PTA活動」については低い評価が見られたが、「八特メール」や「PTA 夕涼み会」での保護者への活動の呼び掛けで改善がなされたと思われる。「家庭や地域との連携」では、一部低い評価がある。

2 課題及び改善策について

※否定的な意見が全体として1割を超えた事に関して取り上げる

課題（否定的評価の合計）	対応、意見、改善策
○指導の充実 ・情報機器を活用した指導を行う（17%）	（情報視聴覚部） 例年、夏休みの研修を新職員対象に行ってきたが、対象を全職員に変え、新しいアプリや機器の紹介を行っていききたい。
○環境美化 ・全体作業や生活単元学習等を通して環境美化活動に取り組んでいる（14%）	（環境整備部） ①全体作業担当で「美化活動」の時間を増やすことが出来るか検討を行う。 ②各学部の環境担当者や担任で生単における「美化活動」の取り組みをもっと行うことが出来るかを検討する。
○家庭関係機関との連携 ①関係機関との連携（ケース会議、情報交換等）を図る（12%） ②関係機関と連携し、本校幼児児童生徒及び地域支援	（高等部・教育支援部） ①今年度一部の職員しか関係機関と関わらなかったためと考えられる。関係機関と話し合いを持った際には学部全体にも伝達するようにしたい。 ②児童デイサービスを利用する生徒は少ないが、卒業を見据えて相談支援事業と関わるので進路指導部と連携して情報共有を図り

<p>を実践する。 (12%)</p>	<p>たい。</p>
<p>○職員連携 ①報・連・相を大切にし、全職員が連携して教育活動を推進する。(12%)</p>	<p>(各学部主事) (幼小中) 学部会等の中でしっかりと共通理解を図り、諸行事に向けての取組みや生徒指導等に連携体制を組み、協力して指導にあたる。 (高) 職員の連携は十分に図られていると感じているが、今後はさらなる連携強化を図っていく。</p>
<p>②八特タイムに積極的に参加し職員間のコミュニケーションを図っている。(12%)</p>	<p>(保健主事、教頭) 職員からどのような取組であれば参加しやすいかアンケートをとり、改善策を打ち出す。 職員間のコミュニケーションを図り、風通しの良い職場環境になるよう、職員一人一人が積極的な参加を心掛けてほしい。</p>
<p>○児童生徒アンケートから ・学校ではいじめやけんかがなくて楽しい。 (そう思わない 29%)</p>	<p>(生活・安全指導部) 【中学部】 生徒が先生を信頼してアンケートに回答してくれたことなので、学部内で対応しています。 【高等部】 高等部の生徒が学校生活を楽しめていない原因としては以下の事が考えられる。 原因 1. アンケート対象生徒が外部生(高等部から本校に入学してきた生徒)のみであった。 2. アンケート実施日に指導中の生徒がおり全体の雰囲気が悪かった。 3. その日の気分でアンケートを書いた 4. ある一部の生徒間の人間関係のもつれが全体に波及することがよくある。 5. 男女交際に関するもめ事</p>

	<p>6. 家庭の事情で不安を感じる以上のことが推測される。特に上記 1において実施した生徒が思春期特有の問題を多く抱えているため否定的なパーセンテージが高くなった。また上記 4. 5においての生徒間の人間関係が、学校生活に大きな影響与えているかと思われる。現在授業で男女交際や人間関係についての学習を全体で行っている。また担任も日生の時間を利用してはじめに関する授業を行い、クラスで問題が起こる度に個別の指導等も実施している。学部職朝においても生徒の問題等があれば全体に共通理解を図っている。よって今後も継続して指導を行っていきたい。</p>
<p>・ 図書館の本を増やしてほしい</p>	<p>(図書館教育部)</p> <p>今年度は前年度に比べて113冊(購入・寄贈)増えています。県費は10万円ほどしか予算が出せないため、年に100冊しか増加することができない。改善策として、石垣市立図書館から団体貸出制度(1ヶ月借用可能・30冊ほど)を利用しているので次年度もその制度を引き続き利用する。</p> <p>今年度からリクエストボックスを設置し、子ども達が購入してほしい本を選別し購入している。次年度もリクエストを募集し図書を購入する。</p> <p>また、新しく子ども達を読みそうな本があれば、図書室へ寄贈をお願いします。</p>
<p>・ iPadのゲームとiPadをもっと増やしてほしい</p>	<p>(情報視聴覚部)</p> <p>iPadのゲームについては、勉強に関するものなら担任と相談して、たくさん購入しても大丈夫です。iPadを増やすことは、購入する時にお金に関わってくるので、すぐには買えません。予算担当者と相談します。</p>

<p>○保護者アンケートから</p> <p>・学校は、家庭や地域と連携しあって教育を進めている。</p> <p>(あまり思わない 15%)</p>	<p>(教頭)</p> <p>家庭へは、連絡帳や学級通信や進路だより等を通して、学校の様子を伝え連携を図っている。また学期末には各学部で学級懇談会を実施している。今後もこのよう取組を継続し家庭と連携して行きたい。地域に対しては、小学部が地域での散策活動、中学部が地域行事に結びつけたボランティア清掃活動を行っている。今後は、このような地域での活動をさらに広げて、連携した教育活動を推進して行きたい。</p>
<p>・授業参観日に行事等を入れないでほしい</p> <p>(普段の授業が見たい)</p>	<p>(小学部主事)</p> <p>幼児児童のいろいろな学習場面を参観できるように授業を設定していきたい。その際、集会等が続かないように工夫していきたい。</p>
<p>・今後も今までより基本的生活習慣確立はもとより、学習面でもう少し力を入れてほしいです</p>	<p>(中学部主事)</p> <p>各教科担当や担任等で生徒の実態に応じて宿題を持たせたり、各種検定に向けての課題に取り組んだりしてはいますが、学級面談等で保護者より要望があれば必要に応じて対応したいと思います。</p>